



城東学園の学校再編

建設地の選定に関する地域説明会

令和6年11月13日
教育委員会 教育政策課





10月30日に開催された城東学園小中一貫校整備検討委員会で、検討委員会としての建設地を決定しました。
本日は、決定までの経過と、今後の進め方について説明をさせていただきます、建設地についての皆様の御意見を伺います。

1. 検討対象となった候補地
2. 検討委員会での選定方法と選定結果
3. 今後の進め方

1. 検討対象となった候補地

1. 検討対象となった候補地



1 城東中学校の敷地



2 東京女子医大の跡地



3 佐束小学校の敷地





1. 検討対象となった候補地

1 現城東中学校の敷地



面積		35,045㎡（台帳面積）
拡張余地		困難
敷地形状		不整形、南北に細長い 校舎の配置に制約多い
安全性	土砂災害	敷地の過半(北面、西面、南面)が土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域に指定されている。
	浸水	浸水想定無し
	液状化	評価対象外（対象となる地層がない）
経済性		土砂災害の対策が必要 工事車両の搬入動線に課題がある
事業スケジュール		土砂災害対策が必要であり、工事期間が長くなる。
都市計画		土方・佐束生活拠点（立地適正化計画）



1. 検討対象となった候補地

2 東京女子医科大学の跡地



面積		34,120㎡（登記簿面積）
拡張余地		可能（西側：大東北運動場）
敷地形状		比較的整形 敷地内高低差あり
安全性	土砂災害	敷地の一部(北面、南面)が土砂災害特別警戒区域・土砂災害警戒区域に指定されている。
	浸水	浸水想定無し
	液状化	評価対象外（対象となる地層がない）
経済性		土砂災害の対策が必要 造成が必要
事業スケジュール		仮設校舎の建設が不要であり、事業スケジュールの見通しが立てやすい。
都市計画		土方・佐東生活拠点（立地適正化計画）



1. 検討対象となった候補地

3 現佐束小学校の敷地



面積		26,989㎡（幼稚園敷地を含む）
拡張余地		困難
敷地形状		比較的整形 面積が不足
安全性	土砂災害	敷地の一部(北面)が土砂災害警戒区域に指定されている。
	浸水	外水氾濫（0.3m未満）
	液状化	評価対象外（対象となる地層がない）
経済性		土砂災害の対策を行うのか検討が必要。 浸水対策を行うのか検討が必要。
事業スケジュール		埋蔵文化財の調査が必要。
都市計画		土方・佐束生活拠点（立地適正化計画）



1. 検討対象となった候補地

検討にあたっての諸条件

- ・小中一貫校の敷地の広さは3ha以上あることが望ましい
小中一貫校では、小中学生がストレスなく活動できるグラウンド等を確保するために敷地面積が3ha以上あることが望ましい。
- ・小中一貫校の建設地は現在の学校敷地を第一候補地とする
敷地の広さ、災害の発生のおそれ等も加味して、学校敷地以外の適地がある場合には、候補地に加えて検討を行う。
- ・道路を挟んだ隣接型小中一貫校
児童・生徒の交流や教職員の移動に時間がかかり、小中学校が連携した活動を行うのに支障があることから、道路を挟んだ隣接型の校舎は検討しない。

2. 検討委員会での選定方法と選定結果

2. 検討委員会での選定方法と選定結果



選定方法

3ヶ所の候補地の中から1ヶ所に絞り込みを行うための選定方法について、検討委員会で協議した結果、『評価方式』で行うことに決定。

『評価方式』とは？

それぞれの候補地が持つ条件を客観的に評価するために、評価項目を決めて、検討委員が、候補地ごとに点数付け（5点満点）の評価を行い、全委員の評価を集計した結果、最も高い評価だった候補地を検討委員会としての決定する方法。

3. 検討委員会での選定方法と選定結果



評価項目

評価項目は・・・

- ・敷地条件
- ・交通の利便性・安全性
- ・周辺環境
- ・防災面
- ・地域連携
- ・経済性
- ・迅速性
- ・都市計画

3. 選定結果

評価結果

東京女子医大の跡地
が最も高得点を獲得
し、検討委員会として
は東京女子医大跡地
を建設地として決定。

指標		配点	城東中学校	東京女子医大跡地	佐束小学校	備考
敷地条件 (10点)	敷地面積	5	3.5	4.1	2.2	
	敷地形状	5	3.0	3.8	2.9	
交通の利便性・安 全性 (15点)	通学経路の安全性	5	3.1	3.3	2.9	
	道路幅員等	5	3.3	3.7	2.6	
	長距離通学者	5	3.3	3.3	1.8	
周辺環境 (5点)	騒音・振動・臭気等の有無	5	4.0	4.3	3.7	
防災面 (15点)	危険度 (浸水)	5	5.0	5.0	2.0	
	危険度 (がけ崩れ)	5	1.0	3.0	5.0	
	危険度 (液状化)	5	5.0	5.0	5.0	
地域連携 (10点)	こども園との連携	5	3.0	5.0	1.0	
	地域との連携	5	3.4	3.8	2.1	
経済性 (10点)	用地の新規取得、造成の有無	5	3.0	3.0	4.0	
	通学支援対象者	5	3.5	3.5	1.8	
迅速性 (5点)	開校までに要する期間	5	3.0	4.0	3.0	
都市計画 (5点)	都市計画・まちづくり	5	3.3	3.6	2.5	
総合得点		75	50.4	58.4	42.6	



3. 選定結果

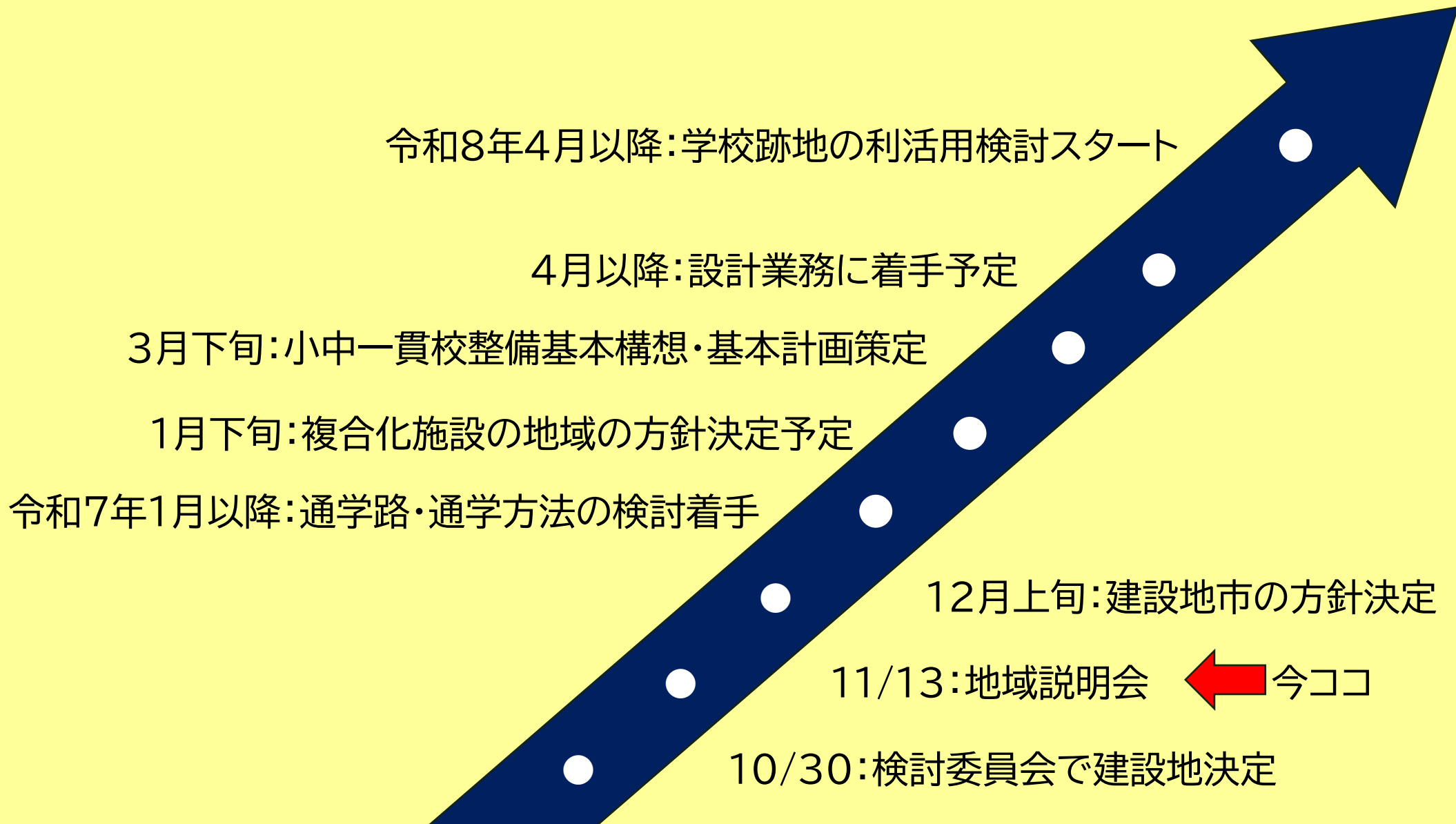


選定理由

- 1 敷地面積(拡張余地も含めて)
- 2 敷地形状(現状更地であり、新しい施設が建設できる)
- 3 災害の危険性が低い(浸水、液状化)
- 4 きとうこども園との連携が行いやすい
- 5 仮設校舎の建設の必要がなく、工事期間を短く設定できる。
(既存の学校の活動に対しての影響が少ない)

3. 今後の進め方

3. 今後の進め方





3. 今後の進め方

小中一貫校整備検討委員会

どんな学校をつくるのか 基本構想・基本計画、基本設計

地区区長会、まちづくり協議会

学校に複合化する公共施設(主に地区センターのあり方)について検討

学校跡地の利活用について

保護者の皆様

通学路や通学方法について検討

地域の皆様に検討状況をお知らせしながら、御意見を伺いながら進めてまいります。

3. 情報発信・意見募集



城東学園専用ホームページ

城東学園での検討状況をお知らせしています。
説明会等での御意見も掲載しています。



城東学園専用意見フォーム

御意見・御質問はこちらのQRコードから





【未来に向けてチャレンジできるまち】

人と環境が持続するまち 2024

日本初本格木造復元



開門 30 周年

掛川城天守閣